




**結婚式が**  
**気になる**彼女のための  
**Wedding Note**



*Thinking Note for Happy Wedding*

CONTENTS

はじめに	P1
1. 2人で考える	P3
2. おさえどころリスト	P6
3. たくさんの結婚式のお花	P20
4. どれにする？ウェディングブーケ	P28
5. ○年後のために	P37
6. 花嫁リアルレポート	P39
おわりに	P43



はじめに

## はじめに

---

「結婚」を最初に意識するのはいつでしょうか？  
周りの友達が結婚をすると聞いたとき。  
結婚式の招待状が届いたとき。  
彼と一緒にステキな時間を過ごしているとき。  
親に結婚を催促されたとき。  
結婚を考える瞬間は人それぞれですね。

結婚という人生の大事な通過点だから  
自分らしい結婚式を過ごして欲しいです。  
そのためにはこんなことを気にかけるといいです。  
そんなことをまとめてみました。



大切なことだから・・・

2人で  
一緒に考える

## 2人で一緒に考える

---

結婚は2人のものです。  
2人で決めるといいですね。

婚姻は、法律上は役所に婚姻届を提出し、受理されて二人が夫婦として認められることを指すので結婚式の有無は関係ありません。

最近では「ナシ婚」という言葉がある様に、結婚式にかける費用を自分たちの生活に充てるカップルもいるようですね。

結婚式は2人のものと言いましたが、実際には家と家の繋がりがあってこそその2人の新しい家庭が誕生します。ですから私は結婚式は自分とパートナーのため、そしてお互いの両親、家族のためだと考えています。そのなかで二人の門出を多くのゲストが見守り、祝福を受けるものが結婚式ではないかと思えます。

もちろん、身の丈に合わない結婚式はおすすめはしません。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

お金をかければよいというものではありませんので。経済的な諸事情をふまえつつ、少しだけ頑張れば結婚式が挙げられるなら是非トライしてほしいです。

「記憶」はお金と違って手に入れたら失うことはなく、まして結婚式での記憶はその人の中でどんな状況になっても一生共に歩んでくれます。

結婚式は今までの自分の人生携わってくれた人達に感謝を伝えて相手の記憶の中に留めてもらえる絶好の機会ですよね。日常に生活をしていて自分の感謝の気持ちを周りの人達に伝えてゆくのはなかなかできるものではありません。小さな「ありがとう」はあっても、人生を振り返り、今までのことを感謝する機会はないと思います。

自分や自分が携わった人達がふとした瞬間にあの時は…つて、思い出すことができたなら結婚式での記憶は失うことのない財産になるでしょう。今までの「ありがとう」の感謝と、これからも「よろしくね」の気持ちは目の前のパートナー、そして両親、そして2人の大切な方々に伝えたいことです。



## *Thinking Note for Happy Wedding*

結婚式はたくさんの意味がある大切なイベントです。  
数年後に後悔することがないように大切な人に自分の思  
いを届けて欲しいです。

忘れてならないのが  
目の前のパートナーと

**どんなときも一緒に歩いていく**

と心に誓う日でもありますね。

そして誰よりもあなたを想う人達が新しい門出を心から  
祝福をしてくれる日でもあります。

それが結婚式です。

2人で考えてステキな式にしてくださいね。





きになるところをまとめました！

# 「おさえどころ」 リスト

## おさえどころリスト

---

「結婚式をしよう！」と、決めても

何からするの？

わからないですよ。

だから、結婚式ができるまでのおおまかな流れをまとめてみました。大体の流れがわかるとイメージがつかみやすくなるので彼とスケジュール調整もしやすいですね。

「おさえどころ」をリストにしてみました。

結婚式までの日程に1年ほどの余裕があるカップル、半年のカップルでは時間の余裕が違ってきます。

お腹に新しい命を授かっているカップルもいるでしょう。

2人の状況によって結婚式の段取りは変わるもの。

だから「おさえどころ」をメインにしてあります。

結婚式の会場が決まればウェディングプランナーや経験豊富なスタッフがしっかりとお世話してくれます。

あなたらしい、そしてふたりらしい結婚式にするためにどうぞ活用してみてください。

## Thinking Note for Happy Wedding

### 結婚報告

- 結婚したい人がいることを伝える
  - ♡メールやLINEはNG。直接話すこと
  - 遠方の場合は電話でも声に出して伝えること
  - ♡親が知りたいことはなるべく詳しく知らせる
- お互いの親に会う日を決める
  - ♡服装を考える
  - ♡手土産を用意する
  - ♡挨拶を考えておく



## 結納・顔合わせのこと

- ・ 結納をするか、顔合わせにするか両家で検討する
- ・ 仲人について相談
- ・ 両家の費用分担を確認する
- ・ 結納または顔合わせの日程を決める
- ・ 結納または顔合わせの当日の流れを確認

♡結納品

♡婚約指輪


♡結婚指輪

♡結納返し

♡結納または顔合わせの会場

♡会場費（食事代）





## Thinking Note for Happy Wedding

### 手続きや届け出のこと

#### ・役所

- ♡婚姻届を出す日を決定する
- ♡転出届け/転入届け
- ♡パスポート
- ♡国民健康保険
- ♡国民年金
- ♡確定申告（税務署）

#### ・勤務先

- ♡退職願（退職する場合）
- ♡休暇届
- ♡健康保険/年金/雇用保険（勤務先の総務課に相談を）

#### ・新生活

- ♡運転免許証
- ♡自動車変更登録
- ♡銀行口座
- ♡クレジットカード関連
- ♡生命保険関連

## Thinking Note for Happy Wedding

### 結婚式のこと

- どんな挙式にしたいか話し合う
  - ♡ 挙式スタイルを決める  
チャペル/神社/人前/海外
- どんな会場で披露宴をしたいか話し合う
  - ♡ ホテル/ゲストハウス/レストラン/専門式場/リゾート他
- 招待するゲスト人数を算出する
  - ♡ 新郎・新婦別に招待したい人を書く  
(親族/職場/友人/その他)
  - ♡ 主賓→絶対に来て欲しい人の順で優先を決めておく
  - ♡ 交通費や宿泊費が必要なゲストはチェックしておく
  - ♡ 両家のバランスを考慮
  - ♡ 親戚/職場/友人に結婚報告と式出席を
  - ♡ お願いするタイミングを考える

## Thinking Note for Happy Wedding

- 結婚式の日程の希望を決める
  - ♡ 準備期間を考える
  - ♡ ゲストが来やすい日を考慮
  - ♡ 季節を考慮する
  - ♡ 価格が安くなりやすい日を考慮する
- 結婚式で使える2人の予算を考える
  - ♡ 2人の貯金額
  - ♡ 結婚式までに貯金できる額
  - ♡ 両家からの援助費用（あれば）
  - ♡ ご祝儀の見込み額
- 新生活の費用
  - ♡ 新居（新生活）の費用
  - ♡ ハネムーンの費用
- ブライダルフェアに行く
  - ♡ ブライダルフェアが行われるエリアを調べる
  - ♡ 同日に複数の会場を回るときはスケジュールを立てる
  - ♡ ブライダルフェアのイベントの内容を把握する

## Thinking Note for Happy Wedding

- ・気に入った会場を下見する

### 挙式会場

- ♡挙式会場のタイプ（チャペル/神前/人前/その他）
- ♡バージンロード
- ♡演出（生演奏/フラワーシャワー/など）
- ♡雨天時の対応

### 披露宴会場

- ♡会場の雰囲気（イメージにあったものか）
- ♡ゲストの人数にあっているか
- ♡会場の内装設備
- ♡会場装花のセンス
- ♡テーブル配置のセンス
- ♡椅子の座り心地
- ♡挙式会場からの移動のしやすさ
- ♡美容室からの距離
- ♡窓からの眺望



## Thinking Note for Happy Wedding

### 料理

- ♡料理の種類（フレンチ/和食/和洋折衷/その他）
- ♡盛り付けやボリューム
- ♡試食ができるか
- ♡フリードリンクの内容
- ♡ウェルカムドリンクの有無と内容
- ♡アレルギー対応や子供メニューの有無
- ♡オリジナルケーキについて
- ♡その他料理演出の確認（デザートビュッフェなど）



## Thinking Note for Happy Wedding

### 衣装

- ♡衣装のバリエーション（白ドレス/色ドレス/和装）
- ♡外部からの持ち込みについて
- ♡小物類の種類
- ♡ヘアメイクリハーサルの有無

### その他

- ♡会場までのアクセス（送迎バス/提携駐車場など）
- ♡周辺的环境
- ♡スタッフの対応
- ♡1日の挙式数
- ♡写真・ビデオ撮影について
- ♡ペーパーアイテムについて
- ♡パックプランについて
- ♡持ち込み/持ち込み料の有無についても聞いておく

- 会場の候補に見積もりをとる
  - ♡招待ゲストのおおよその人数を伝える
- 式場の仮予約を行う
  - ♡他の会場と比較する
  - ♡期間内に良ければ本予約をする

## Thinking Note for Happy Wedding

- 会場の候補に見積もりをとる
  - ♡招待ゲストのおおよその人数を伝える
- 式場の仮予約を行う
  - ♡他の会場と比較する
  - ♡期間内に良ければ本予約をする
- 衣装のイメージを固める（お色直しの回数を決める）
  - ♡ウェディングドレス+色ドレス
  - ♡ウェディングドレス+ウェディングドレス  
（2wayドレスの使用）
  - ♡白無垢+ウェディングドレス
  - ♡白無垢+色打掛+ウェディングドレス
  - ♡黒引振袖+ウェディングドレス
  - ♡色打掛+ウェディングドレス
- 衣装を探す
  - ♡ドレスの試着
  - ♡和装の試着
  - ♡小物も考える
  - ♡カツラの有無を検討する（和装）
  - ♡衣装の予約

## Thinking Note for Happy Wedding

- 新郎の衣装を決める
  - ♡和装+洋装
  - ♡洋装+洋装
- ウェディングブーケを探す
  - ♡イメージに近い写真や画像を探す
  - ♡何個必要か考える（前撮り/挙式/お色直し/その他）
  - ♡ヘッドドレスの有無（花をヘアにつける場合）
- 会場装花を決める（3に詳しく説明あります）
  - ♡メイン装花（高砂花）
  - ♡ゲスト装花（卓花）
  - ♡ケーキ装花
  - ♡教会チャペル献花
  - ♡教会/チャペルベンチフラワー
  - ♡フラワーシャワー
  - ♡ウェルカムボード（ウェルカムリース）
  - ♡ウェルカムスペース（受付）
  - ♡ケーキナイフ/トーチ等
  - ♡マイクフラワー
  - ♡ナフキンフラワー
  - ♡グラスフラワー
  - ♡贈呈用花束

## Thinking Note for Happy Wedding

- 写真・ビデオの手配
  - ♡欲しい写真の雰囲気があれば写真指示書を作る
  - ♡前撮りについて考える
  - ♡プロフィール映像について考える
- ゲストに依頼する内容を決める
  - ♡主賓あいさつ
  - ♡乾杯の発声
  - ♡スピーチ/余興
  - ♡受付
- 招待状を準備/発送する
  - ♡スピーチや余興の依頼をお願いしたいゲストには招待状の発送までには口頭で依頼をしておく。  
(招待状にはメッセージカードを同封する)
  - ♡慶事用の切手を用意する
  - ♡招待状の重さを計っておく  
(超過料金の発生を防ぐため)

## *Thinking Note for Happy Wedding*

- ・ペーパーアイテムを決める

- ♡席次表

- ♡席札

- ♡メニュー表

- ♡プロフィールパンフレット

- ♡サンキューカード

- ・引き出物の決定

- ♡引き出物を決める

- ♡披露宴お見送りのプチギフト

- ・当日のお手伝いをお願いする人を決める

- ♡司会者

- ♡受付

- ♡余興


- ♡二次会幹事

- ・プログラム進行表を作る

- ♡行いたい演出を決める

- ♡お色直しのタイミングなど考慮する

- ♡BGMを選曲する



## *Thinking Note for Happy Wedding*

- 司会者との打ち合わせ
  - ♡披露するエピソードをまとめる
  - ♡触れられたくないところがあれば伝える
- 両親への記念品の贈呈
  - ♡両親への記念品を考える
  - ♡花嫁の手紙
  - ♡両家代表の挨拶（新郎の父＋新郎）
- 最終打ち合わせ
  - ♡手配したものの最終チェック
  - ♡当日の式進行のチェック
  - ♡会場への持ち込みのものの確認
  - ♡結婚式費用の支払い



何がどこに必要？

# たくさんのお花 結婚式のお花



## たくさんの結婚式のお花

---

結婚式には花がつきものですね。さまざまなお花が結婚式を華やかにします。

結婚式で使われる花を「会場装飾花」と言います。

結婚式場やお花屋さんでの業界用語で略して「装花」と呼びます。この装花によって様々な結婚式のイメージを作ることができます。季節感や空間演出には装花は結婚式で欠かせないものになります。

会場装花は結婚式場によって工夫を凝らしてオリジナルな演出をしていますのでブライダルフェアに行くとイメージがどんどん湧いてくるでしょう。各結婚式場のブライダルフェアはその会場の「最高ランクの装飾」を作っていることを心にとめていろいろ見てくださいね。

ここでは一般的な結婚式場やゲストハウスで使用されることの多い装花をまとめてみました。お花はアイデア次第でどこにでもデコレーション可能なアイテムです。どこに「必ず必要」なところかよく2人でよく考えてくださいね。

## メイン装花（高砂花）

新郎新婦が座る席の装飾花。主役の2人の席ですからゲストも注目する席です。ここのお花は必須のお花になります。結婚式のテーマカラーを決めて花を指定せずテーマカラーのお花で装飾するも良いですし、好きなお花があるようでしたらそのお花をテーマに会場装飾してもらうことも良い方法です。

お花にこだわりがある場合、その季節にしか流通していないもの、入手困難なお花もありますので提携のフローリストと相談してみると良いでしょう。

こだわりがないならイメージ（エレガントやキュート、ナチュラルなど）を希望しお任せにするとたいていは旬のお花で装飾してくれることが多いです。

お花の旬も何もわからない状態の人いますよね。

その場合はイメージに近い写真などを持参し、自分の希望を伝えることが大切です。それから見積もりを出してもらうと具体的になっていきます。


## ゲスト装花（卓花）

ゲストテーブルのお花のことです。テーブル毎に必要なになります。プランについているものは小さめのものが多く、少し賑やかにしたいならプラスアルファの価格がつきやすいところですよ。

お花の量で価格も決まりやすいのでグリーンを多くしてボリューム感を出したり、アイデアカップルはお花以外のアイテムを使用してテーブルを賑やかにデコレーションすることもできます。

## ケーキ装花

ウェディングケーキ周囲にあるお花の装飾のことです。ウェディングケーキは演出に使うものなのでシャッターチャンスが多いシーン。ケーキ入刀、ファーストバイトも人気です。「垂らしこみケーキ」もありますね。ケーキ周囲は装飾をしておくことをおすすめします。ケーキ持ち込みをする場合はケーキ装花は誰が行うかを確認してくださいね。



## Thinking Note for Happy Wedding

### 教会チャペル献花

教会・またはチャペルの祭壇を飾るお花です。  
挙式料に含まれている場合もありますので確認が必要になります。祭壇によって両脇に飾るか中央に飾るかスタイルが異なりますが基本的に白一色で作ります。

### 教会チャペルベンチフラワー

教会・チャペルでゲストが座る椅子に飾られたお花のことです。  
バージンロードの両脇にあるお花なのでバージンロードが長い分、椅子の数も多くなりますからお花もたくさん必要になります。こちらも挙式料に含まれている場合と別料金の場合があります。

## Thinking Note for Happy Wedding

### フラワーシャワー

教会・チャペルで挙式を終えたあと、ゲストの手からお花のシャワーをしてもらう演出。

「装花」というよりは「演出」なのですが、お花を使用するのでご紹介します。会場によっては実はフラワーシャワーを禁止しているところがあります。生花ではなく、造花のお花にしたり、ライスにしたり・・・。

祝福のシャワーの方法はいろいろあります。

### ウェルカムボード

「私たちの結婚式に来てくれてありがとう」の気持ちの案内板です。

複数のカップルが挙式・披露宴を行う結婚式場では「○○家・○○家」と案内板はありますがそれとは別に会場入り口に設置します。

ウェルカムボードのデザインになりますのでお花の有無は関係ありませんがやはり、お花がある方が華やかな雰囲気にはなります。

手作りに挑戦するカップルも多いです。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

### 受付（ウェルカムスペース）


ゲストを迎えて受付をしてもらう場所でご祝儀や会費を受け取り、芳名帳にサインをしてもらう場所です。こちらにお花があることによってとても華やかになります。結婚式会場では会場装花にこの受付周囲はプランに入っていないことが多いです。

### ケーキナイフ・トーチ等小物

忘れがちなのですが、ケーキカットの時のナイフ、キャンドルサービス時のトーチ、鏡開きの時の木槌など新郎新婦が演出に使う小物などのアイテムはリクエストしないと何もついてこない場合があります。

無料でリボンをつけてくれる場合もあるようですが、会場のリクエストした装花の雰囲気と合ったものなのか確認をする必要があります。

演出の時の手元は写真に残りますので、不似合いなダサい花やリボンではそれは一生写真に残ります。



## *Thinking Note for Happy Wedding*

### マイクフラワー

主賓やお世話になった方など、披露宴では祝辞をいただく機会が多いです。

なくても良いですがあるとスピーチはゲストが注目するところですのでしっかりとゲストの目に止まるフラワーアイテムになります。

### ナフキンフラワー

各ゲストのナフキンに飾る花のことです。ここにはゲストのネームカードやお料理のメニューなどを置いても構わないのでなくても不自然ではありません。

もともと小さなアクセント的に飾るものなので子花一輪かグリーンの葉物を少しという場合が多いです。ドライフラワーでも十分なので雰囲気の問題がなく、持ち込みが可能なのであれば自分達で準備しても良いでしょう。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

### グラスフラワー

シャンパングラスの足につけるお花のことです。ゲスト全員に装飾するのは費用的にも大変になりますので新郎新婦のみにする場合があります。新郎新婦のグラスをオシャレに装飾して乾杯の写真に華を添えます。また、当日の小さなサプライズでお誕生日のゲストの方につける演出に使うこともできます。

### 贈呈用花束

披露宴の終盤にご両親に感謝を込めて渡す花束、または子供達が自分たちに持って来てくれる花束、その他アイデア次第で色々な演出に使用する花束も準備が必要です。最近では花束ではなく、2人からの記念品を両親に贈るカップルもあります。







似合うブーケを教えてください！

どれにする？

ウェディング

ブーケ

## どれにする？ウェディングブーケ

---

ウェディングブーケってステキですね。

見ているだけで幸せな気分になります。

「花嫁の数だけウェディングブーケがある」と言われるように、同じ色・お花を用意してもデザインを変えると全く雰囲気の違いの違うものが出来上がります。

花嫁が幸せになりますようにと思いを込めて束ねられた花嫁専用の花束がウェディングブーケになります。

ウェディングブーケの由来は知っていますか？

有名なのが男性が女性にプロポーズする際に野の花を摘み集め女性に求愛した花束がウェディングブーケの始まりです。そして、女性が男性のプロポーズを承諾する際に男性からもらった花束から一輪の花を抜き取り、男性の胸のポケットに挿し入れることがブーニアのはじまりと言われていています。ですからウェディングブーケとブーニアはセットなんですね。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

最近では花嫁がブーケを持つことは洋装に限らず、和装の花嫁も和テイストのブーケを持つことも珍しくなくなりました。和装の際は男性のブートニアはつけない人の方が多い気がします。

### ウェディングブーケの選び方

ウェディングブーケの選び方に特別なルールは存在しません。たいていの方はドレスに似合うものを探します。挙式で白のウェディングドレスを着ている時は白のブーケ、披露宴でお色直しに合わせてブーケも持ち変える人も多いです。ホテルや専門式場のチャペルではあまり規制はありませんが、キリスト教式でカトリック教式の場合はドレスデザインやブーケの色でのルールがたまにあることがあります。

最近では挙式・披露宴の前に前撮りをするカップル、海外挙式を行い、帰国してからお披露目パーティーをするカップルも増えてきました。その際にウェディングブーケをその度に準備するのではなく、造花のアーティシシャルフラワーを用いたブーケをオーダーし、海外から日本でのお披露目まで大好きなお花で作られたブーケで過ごすのもアイデアです。

## ウェディングブーケのデザイン

ここ数年はナチュラルテイストが流行っていて、自然に束ねたような雰囲気の花束に人気があります。

花束の選び方で大切なのはデザインよりも全体的な雰囲気に合っているかが大切なのです。

会場の雰囲気やドレスと総合的に考えて花束のデザインを決めると良いです。

ドレスチェンジに合わせて花束もお色直しで持ち替えるのであれば色に加えてデザインも変えても楽しむことができます。

ドレスのみのチェンジで花束は1つで過ごされる場合や、ドレスはそのままで花束とヘアチェンジでお色直しとする方もいます。

花束のデザインで花嫁の雰囲気を変えることができます。楽しんで花束のデザインを選んでくださいね。



## キャスケードブーケ

小滝のようなブーケ。上から下に流れる水のように逆三角の形をしているデザインのブーケです。どんな雰囲気  
の女性にも似合います。エレガントで気品ある花嫁になり  
たい方にはオススメです。

贅沢で豪華なイメージにもなるので正統派の教会・チャ  
ペルのお式やホテルウェディングによく似合います。

逆にレストランやガーデンスタイルのウェディングはお  
花の量を調整しグリーンを多くするなどカジュアル感が  
出るように工夫をしましょう。

縦に長さがあるブーケですので身長が高めの花嫁さんに  
良く似合います。

また、数あるブーケのデザインの中で一番お花の数が多  
くブーケの細工が多いのもキャスケードです。金額も少々  
お高め傾向です。カサブランカなどのユリ類、バラ類、  
ラン類で製作するとクラシカルで正統派な雰囲気を出す  
ことができます。

似合うドレスはシルクやサテンの重厚感ある素材やレー  
スがついてるクラシカルで上品な雰囲気のドレスにとて  
も似合います。プリンセスラインやトレーンが長いドレ  
スにも似合います。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

### ラウンドブーケ

どこから見ても丸い形で半円のドームのようにお花をまとめたブーケです。

使用のお花によってどんな雰囲気にも仕上げる事が可能です。ドレスの種類にもあまり似合う、似合わないということがありません。

会場の雰囲気にもなじむ安心感がありますのでブーケのデザインに迷ったらラウンドブーケを選んでおくと間違いになりません。まさにウェディングブーケのオールマイティーです。花嫁さんの体型も選びません。

洋装のドレスはもちろんですが和装の時にもこのラウンドタイプなら着物姿の花嫁さんにも違和感のない優れものになります。



## Thinking Note for Happy Wedding

### ティアドロップブーケ

「花嫁の幸せの涙」という意味のティアドロップ。  
雫をちょうど逆さまにした様なデザインをしています。  
キャスケードブーケとラウンドブーケの中間の様な雰囲気です。花材にもよりますがキャスケードブーケよりも小ぶりで適度なボリュームを作ることができます。大人っぽさと可愛らしさの両方を持ち合わせています。  
キャスケードよりも小ぶりですから小さめな会場やレストランウェディング、ガーデンウェディング、二次会の持ち出しにしても良いサイズになります。  
ドレスはラウンドブーケの要素を含んでいるほぼどんなドレスにも似合います。



## クラッチブーケ

クラッチブーケとは茎が見えているタイプのブーケになります。クラッチとは「しっかり握る」という意味で、束ねたお花をそのまま持つ感じになるブーケです。最近のブライダルシーンでよく見られます。

外国の花嫁がよく持ってるデザインがクラッチブーケですね。似合うドレスはボリュームのあるドレス、重厚感のあるドレスではなく、スレンダーラインのドレスやナチュラルな雰囲気のあるドレスに合わせるとスタイリッシュな花嫁になれます。

挙式会場も野外ウェディングやガーデンウェディング、レストランウェディングやハウスウェディングに向いています。

「摘んできた花をそのまま束ねた」イメージが強いブーケですので花材を慎重に選ばないとフォーマル感に欠けてしまうことがあります。会場がホテルなどの豪華なイメージの場合は花材選びに気をつけましょう。

生花でクラッチブーケを希望する場合は保水処理ができませんので水持ちの良い花を花材に選びましょう。

切り口から樹液が出る様な花材は衣装を汚さない様に処理が必要になります。



## ボールブーケ

ネーミングの通り、360度球体のボールの様なブーケです。和洋どちらの衣装にも似合うでしょう。

花材をマム系のもの、リボンを組紐に変えると色打掛の時に持つようなとても可憐なブーケになります。ドレスの時には使用できますのでボールを二段構えにデザインにしたりアレンジは色々です。最近では和婚ブームもあり、手毬の様なボールブーケを持つ花嫁もいます。

ボール状で面全てにお花が入りますので花材量は多くなります。

## オーバルブーケ

オーバルブーケもラウンドブーケとキャスケードブーケの中間の様な位置にあるブーケです。

先述のティアドロップもラウンドブーケとキャスケードブーケの中間ですが、どちらかというとならぶとオーバルブーケはラウンドブーケを縦に伸ばした様な楕円形のイメージが強くなります。オーバルとは「楕円」という意味でティアドロップ同様にドレスや会場を選ばない使いやすいブーケです。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

### バックブーケ

ハンドバックの様なブーケです。挙式よりは披露宴でのお色直しや二次会にぴったりなブーケになります。持ち手をリボンやパールに変えることができ、アクセサリ感覚でブーケを持つことができます。

ドレスはプリンセスライン、ベルラインやミニ丈のドレスによく似合います。

### その他のフリースタイルブーケ

三日月の様な形の「クレセントブーケ」

水の出るシャワーの様な形の「シャワーブーケ」

持つ時に腕に抱える様にもつ「アームブーケ」

エタニティ（永遠）という意味がある「リースブーケ」

数輪の花びらを分解して1つの大輪の花に組み直す「メリアブーケ」など、ウェディングブーケにはデザインが豊富にあります。



**感動**をそのまま残したい！

○年後の  
ために

## ○年後のために

---

結婚式の思い出を記憶に残すことが大切だと先述しました。記憶をより鮮明にすることができるツールとして「もの」は使えます。結婚式の思い出を残す方法は色々です。昔は写真とビデオがあれば良い方。私の母の結婚式のアルバムはたった一冊。写真もすごく少ないです。

でも私は幼い頃からこのアルバムを見るのが好きで何度も何度もこのアルバムを開いては婚礼衣装を着た父と母をいつも見ていました。子供の私にとっても結婚式のアルバムは特別なものだったんですね。

現在ではビデオもスマートフォンでもかなりの高画質のものが撮れるようになりました。おまけに編集も自由です。とても便利な時代になりました。

「これを思い出の品にしよう」というものを作っておくこともできます。例えばゲストブックをウェディングツリーにして来てくれたゲストのサインを1つの作品にしてしまう方法もあります。良く聞くのがウェディングブーケを押し花に加工して額に納める方法ですよ。

## *Thinking Note for Happy Wedding*

最新の技術である立体的なお花が平面的にディスプレイされるのは素晴らしいアイデアですね。

生花でのブーケを残すことを「アフターブーケ」といいます。現在ではいろいろな技術があります。

アーティシシャルフラワーは高品質な造花です。

別途に加工することなく、立体的にそのまま残すことができる優れたものです。

結婚式の思い出を残す方法は「もの」にストーリーを加えること。

参列してくれたゲストがサインしてくれたもの。

結婚式のために手作りしたもの。

結婚式のために「誰がどうしてくれたもの」というストーリーを加えてみてください。

きっとそれは他のものよりも特別なものになります。





先輩に**学べ**！

# 花嫁リアル レポート

## 花嫁リアルレポート

### 6月のお式の花嫁さまのご紹介

花嫁さまのリクエストは「芍薬」が入っているカジュアルすぎずエレガントすぎない雰囲気の花束。  
花束には大きめのピンクと淡い小ぶりのオレンジの芍薬を使用。濃淡を活かした優しい花束になりました。



欧米の結婚式にまつわる習慣の一つにSomething Borrowedというものがある、友人などから借りたものを結婚式で身につけると幸せになれるというものです。大切に作っていただいた花束やアクセサリなので、周りの友人やゆくゆくは自分の子供に受け継いでもらえたら最高ですね！

～花嫁さまの感想より～

## Thinking Note for Happy Wedding

### 11月のお式の花嫁さまのご紹介

花嫁さまのリクエストは和装用ブーケ。お花はおまかせ。白無垢をお召しになるということで白ダリアをメインにアクセントに朱色の組紐をブーケの中に入れました。和の花嫁さまに似合うブーケです。



デザインはお任せにしました。本当に当日にブーケを見るのが楽しみでした。初めてブーケを見たときの感動は今でも忘れません。記念写真にも収めることができ、大切な思い出になりました。今でも今の飾り棚に大切に飾っています。そのブーケを見るたびにあの幸せな1日を思いだす毎日です。

～花嫁さまの感想より～



## Thinking Note for Happy Wedding

### 1 1月のお式の花嫁さまのご紹介

花嫁さんのリクエストはウェディングドレスに似合う「垂れた形のブーケ」色は真っ白ではなく、グリーンと少し他の色も入れて欲しいとオーダーをいただきました。このブーケと同じ花材を使用して小ぶりのラウンドブーケをもう1つご用意。妹さんへのプレゼントになりました。お姉様からのサプライズプレゼントに嬉しそうです。



## Thinking Note for Happy Wedding

### 12月のお式の花嫁さまのご紹介

クリスマスシーズンの花嫁さま。せっかくのクリスマスウェディングですのクリスマスが来るたびに結婚式を思い出してもらえるようにブーケもクリスマスを意識した花材をご用意しました。冬の澄んだ空気にぴったりのブーケに仕上がりました。



クリスマス時期の結婚式だったので、どこかでクリスマス感を出したいと思っていたので、みんなが見てくれるブーケに入れて正解でした！

～花嫁さまの感想より～



**おわりに**

## おわりに

---

私は結婚式が大好きです。

お友達に恵まれていたこともあり、20代前半からたくさんさんの結婚式の招待を受けて参列してきました。

その中には今でも記憶にしっかりと残る素敵なお式とも出会いました。素敵なお式だったなあと思えるものに共通しているものは結婚式の中で「**感動と感激、そして感謝の感情がしっかりと伝わってくるもの**」なんて思っています。

私の結婚式は東京で行いましたが、大阪からお花の先生を筆頭に仲間たちが新幹線にお花を大量に持ち込み、前日から東京入りしてみんなで会場装花を行なってくれました。その仲間の気持ちに感謝でいっぱいです。今でもしっかりと記憶に残っています。そんな私は今では子供を持つ親になりました。ブーケを製作していると花嫁さんの気持ち、そしていつか娘を送り出す日のことを想像して思いに溢れます。

ウェディングブーケに込める思いは1つです。

**どうかどうか幸せな人生を送れますように**

